

# 撫養港海岸直轄海岸保全施設

## 1. 事業の概要

切迫する東南海・南海地震及び地震津波により甚大な被害の発生が危惧されるため、海岸防護機能の確保を目的とした堤防の液状化対策等を行う。

## 2. 事業の必要性

撫養港海岸背後は、鳴門市の中心市街地が広がる人口密集地であり、昭和36年の第二室戸台風では高潮被害等により甚大な被害を受けた地域である。第二室戸台風後整備された既存の堤防は老朽化が進行し、現状では亀裂の発生や水叩きが陥没する等、危険な状況である。

さらに、今後50年以内に80%程度で発生すると予測されている東南海・南海地震の発生により、既存の堤防は沈下、倒壊すると予想され、その後に来襲する地震津波により、商工業地や住宅が密集した背後地では甚大な被害の発生が危惧される。

このため、海岸防護機能の確保を目的とした堤防の液状化対策等を早急に実施する必要がある。

## 3. 計画内容

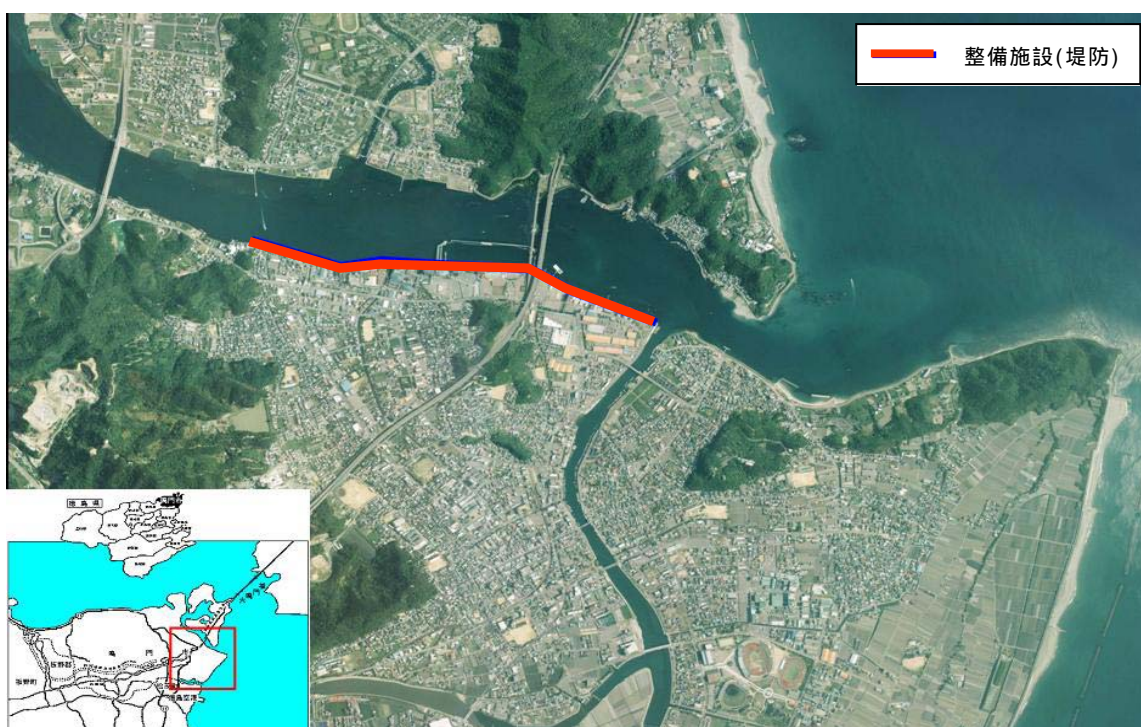
整備内容：堤防（改良）

整備期間：平成18年度～平成27年

総事業費：約135億円　うち国費　約90億円

B/C　　：3.2

### 【整備箇所】



撫養港海岸（徳島県）